

日昇二人のこゝを日淳二人は取り扱ふた
蓮葉庵でのこゝ(女性向き)に於いて日淳は
字りぬかした。日昇二人の原稿はそのほとんど
日淳二人が書かした。

今の扱下には参考が無い。みな本當の
こゝを言、ていなく。次の座をたくみに
うかが、ている。失敗した方がよいと心の中
喜ん、ていいる

ここまゝ来た。我々で諫言する以外に
と何人かと相談して我々の誠意に
やるうとしていた。48年8月の
講習会の時であった。この一ヶ月の
扱下のこゝ説は、学会を促したほめして
たので、やめた。

称名寺(成田)とて相談しては
池田先生しかないと、言、ていた

今年8月の時の扱下は、もうめちやく
であった。ゴロツキが三流のヤクザの勢